

5 - 10 四国地方の上下変動

Vertical Movements in Shikoku District

国土地理院 測地部
Geodetic Department, Geographical Survey Institute

1977年から実施していた四国地方の水準測量の結果については一部報告済であるが¹⁾その後1980年に全路線の測量が終了した。今回その結果をとりまとめ四国全域の平均計算を行ったので報告する。

第1図はその平均計算結果を表わしているが、条件としては北部の善通寺の水準点を仮不動としてある。図中右下には環閉合が示してあるが、今回は前回よりすべて小さく制限値内に入っている。

室戸岬の先端に進むに従い沈下が大きくなり、他方足摺岬ではやや隆起を示している。前回の報告²⁾の際は瀬戸内海側が沈下傾向であったのが、今回はわずかではあるが隆起となっている。

第2～4図はその後の各路線における水準測量結果を上下変動グラフで表わしてある。

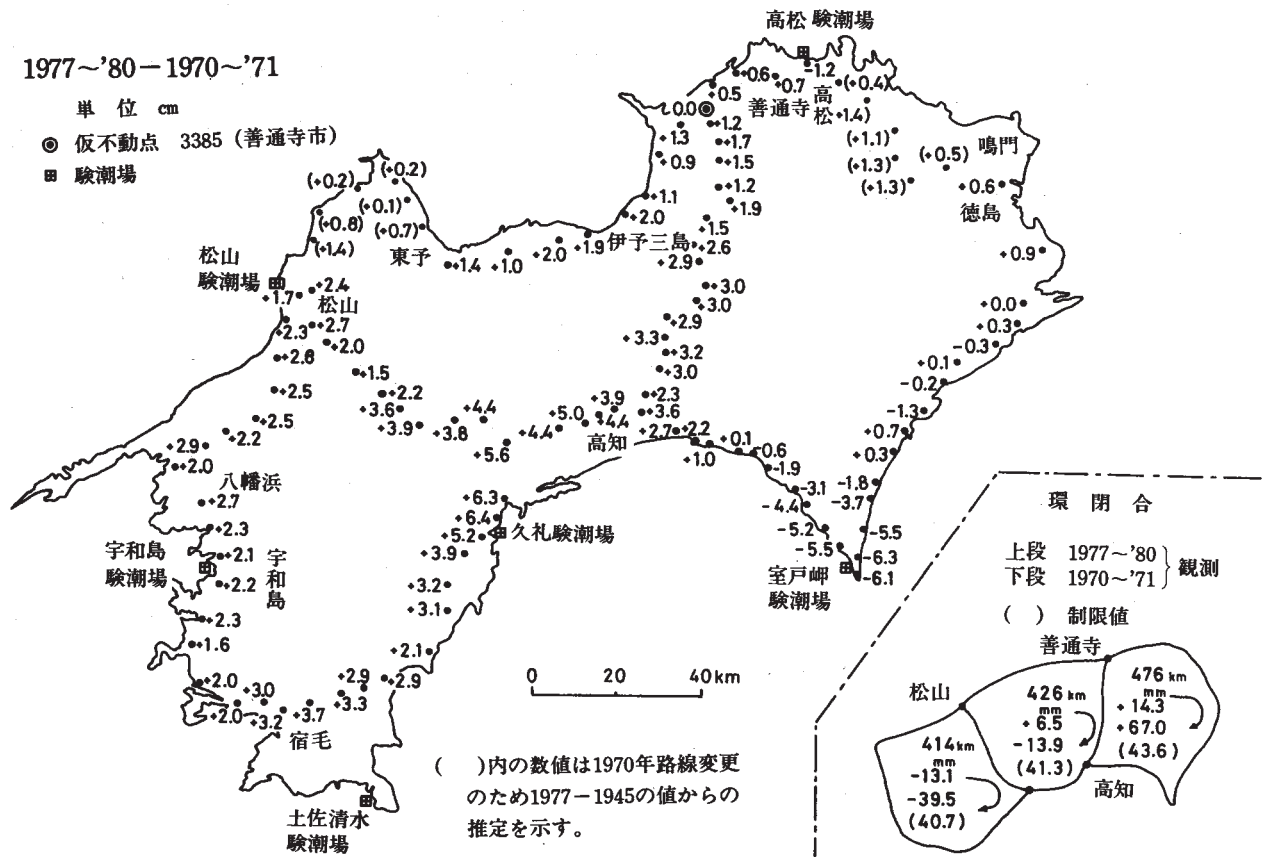
第2図（善通寺－阿南間）は路線変更で観測比較点が少ないが大きな変動はない。

第3図（室戸－阿南間）及び第4図（高知－室戸間）ではいずれも室戸岬に向って沈下し最大8～9cmの沈下がみられる。

第5図は四国地方の各験潮場間の年平均潮位差を参考として表わしてあるが、水準測量の平均計算結果はほぼ同じ傾向を示している。

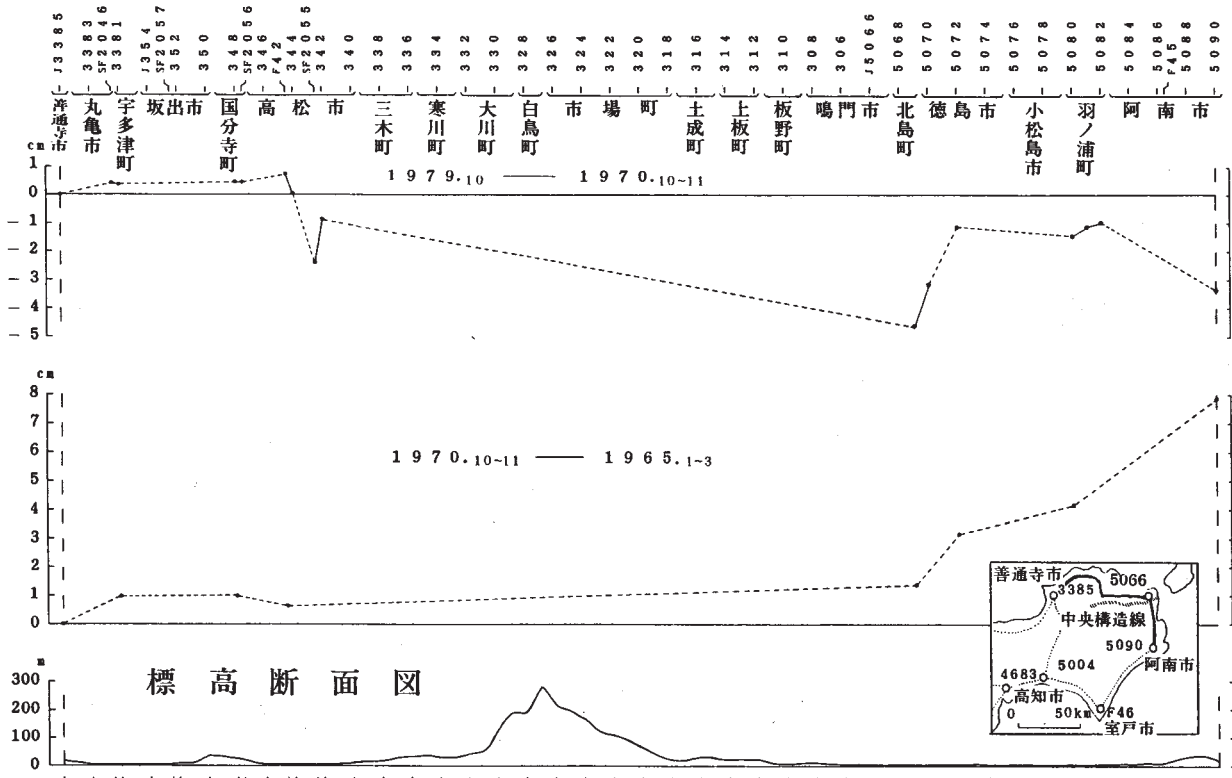
参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部：四国地方の上下変動，連絡会報，22（1979），203 - 207.
- 2) 国土地理院地殻活動調査室：四国地方の上下変動，連絡会報，8（1972），86 - 87.



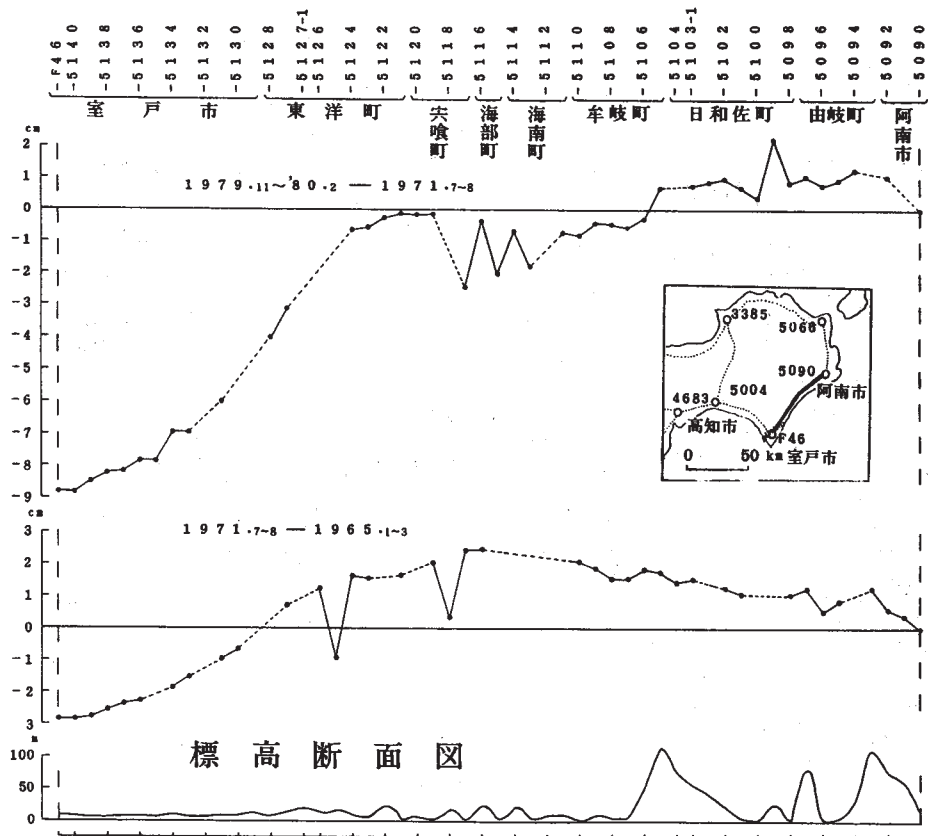
第1図 四国地方の上下変動図

Fig. 1 Vertical movements in Shikoku district.



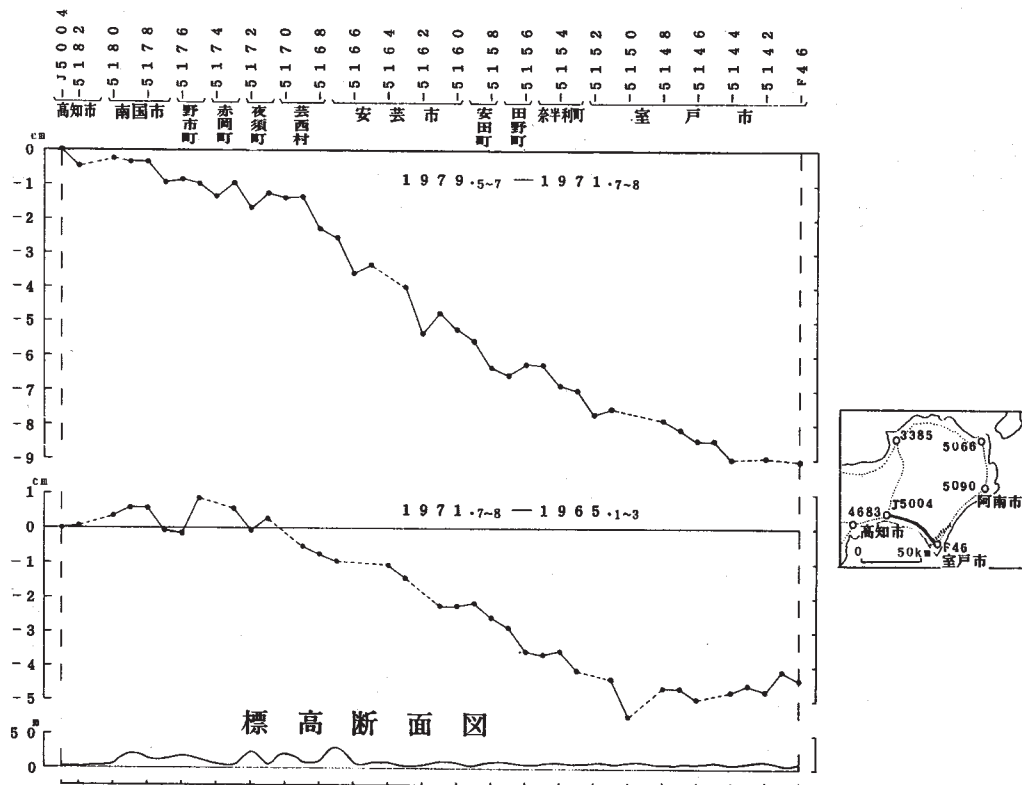
第2図 善通寺~阿南間の上下変動グラフ

Fig. 2 Vertical movements between Zentsuji and Anan.



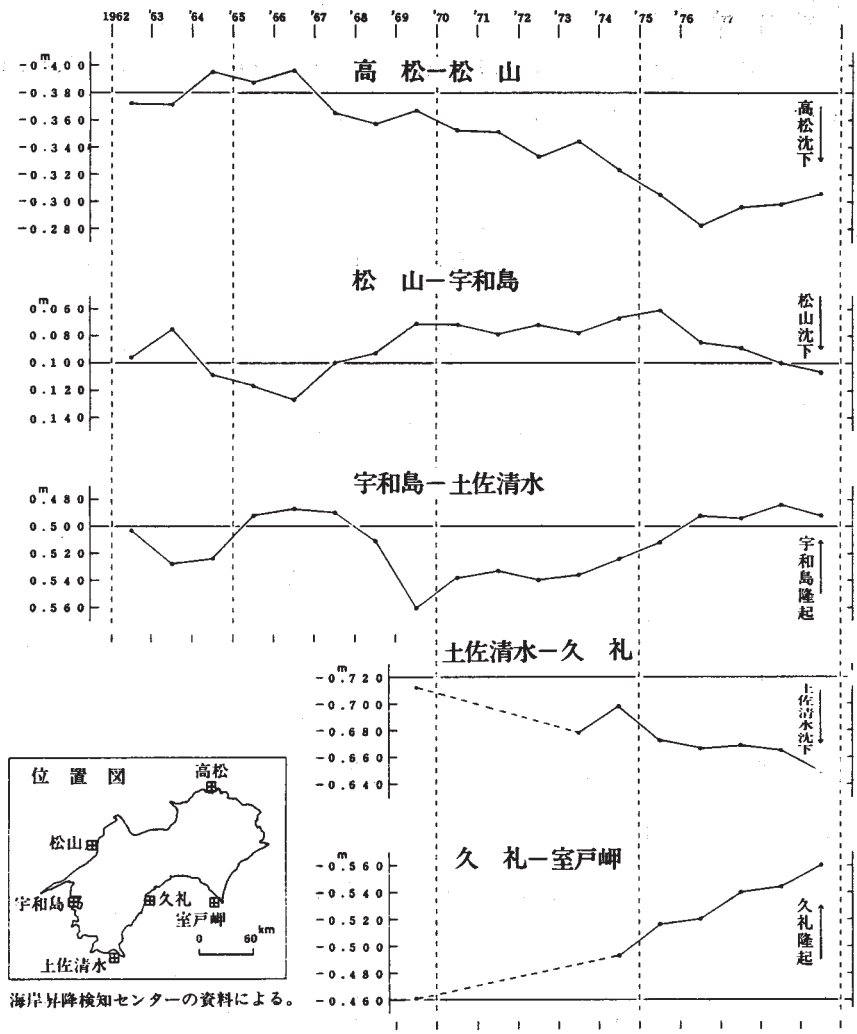
第3図 室戸～阿南間の上下変動グラフ

Fig. 3 Vertical movements between Muroto and Anan.



第4図 高知～室戸間の上下変動グラフ

Fig.4 Vertical movements between Kochi and Muroto.



第5図 四国地方各験潮場間の年平均潮位差

Fig. 5 Annual means of tidal differences between tidal stations in Shikoku district.